

平成29年度

# 山形大学OB & OGセミナー

日時

2018年3月3日(土) 10:00~15:30 (受付9:30~)

会場

**グランパーク301大会議室**  
東京都港区芝浦3-4-1 田町グランパークプラザ3F  
TEL 03-5441-2100 (会場案内図のとおり)

● 募集人員 200名

● 参加費

セミナー：無料  
交流会：(一般の方) 5,000円  
(平成卒業・修了の方) 3,000円

● 申込方法 裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

● 申込締切 **2018年2月20日(火)**  
(期間延長)

会場案内図



JR田町駅から(徒歩5分)  
地下鉄都営浅草線・三田線三田駅から(徒歩7分)

## プログラム

- 10:00~10:10 開会挨拶 小山 清人 山形大学長
- 10:10~11:10 講演Ⅰ「**在来作物は生きた文化財 ~その魅力と活用**」  
学術研究院(農学部担当) 江頭 宏昌 教授
- 11:10~11:20 - 休憩 - ~ 山形大学オリジナルグッズの紹介と頒布 ~
- 11:20~12:20 講演Ⅱ「**「今、ここ」の偶然性と必然性**」  
学術研究院(地域教育文化学部担当) 松本 大理 准教授
- 12:20~12:25 - 休憩 -
- 12:25~12:55 **現役山大生による活動報告**  
・大学院理工学研究科2年 土屋みなみさん(応用システム工学専攻)  
・地域教育文化学部3年 高橋秀平さん(学生花笠サークル「四面楚歌」代表)
- 12:55 閉会挨拶 大場 好弘 山形大学理事・副学長
- 13:20~15:30 交流会(セミナー会場と同じ場所で開催します。)

お問い合わせ  
お申し込み先

山形大学校友会事務局 (担当: 大沼・黒沼・田辺)  
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12  
TEL: 023-628-4867 FAX: 023-628-4185 E-mail: ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 平成29年度 山形大学OB & OGセミナー

## ■ 講演Ⅰ

### 「在来作物は生きた文化財～その魅力と活用」

学術研究院（農学部担当） 江頭 宏昌 教授〈植物遺伝資源学〉



江頭 宏昌 教授

戦前まで日本の大部分の農作物は、昔から地域で自家採種等で継承されてきた在来品種でした。高度経済成長期以降、食料の生産や流通効率が最優先されるようになって、生産性の悪い在来品種は姿を消していきました。しかし近年、山形県をはじめ日本各地で在来の作物が見直され、さまざまな形で活用が進んでいます。必ずしも大きな利益をもたらすとは限らない作物が、今なぜ復活しているのでしょうか。その理由や魅力とともに、鶴岡や全国の活用事例を紹介します。

## ■ 講演Ⅱ

### 「「今、ここ」の偶然性と必然性」

学術研究院（地域教育文化学部担当）

松本 大理 准教授〈哲学・倫理学〉

哲学はさまざまな言葉や学術用語の意味を明らかにする役割を担っていますが、その哲学においても、「偶然」という言葉の意味の探究は消極的でした。起こるべくして起こったことであれば、その理由を説明できそうですが、たまたま起こったことについては、むしろ理由が欠けているためでしょう。今ここに偶然起きていることは、いったいどのような意味の奥行きを持っているのでしょうか。本講演では九鬼周造の考察を手がかりにして、偶然と必然の交錯を解きほぐしたいと思います。



松本 大理 准教授

**【お知らせ】** セミナー会場内では、山形大学オリジナルグッズ（「学長せんべい」や「山形大学吟醸酒」など）を広く紹介するとともに頒布も行います。どうぞお楽しみに…！！

## 参加申込書

必要事項をご記入のうえ、山形大学校友会事務局へFAXまたはE-mailにてお申し込みください。

FAX：023-628-4185

E-mail：ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ふりがな		同窓会名	
お名前		卒業年	昭和・平成 年卒
ご住所	〒 -	電話番号	( ) -
		FAX	( ) -
		E-mail	

交流会（一般：5,000円、平成卒業・修了：3,000円）に参加を **希望します** ・ **希望しません**  
※どちらかを○で囲んでください。

※参加申込書の個人情報は、本セミナーの手続きや山形大学のイベントのご案内にのみ利用させていただきます。